

HCDアワード ベストプラクティス推薦書

*は記入必須事項です

事例名*	いつれかを削除*	記入者氏名*	記入日*
グリー株式会社における、ユーザテストの組織導入とゲーム開発プロセスへの活用	自薦	村越 悟	2014年 11月 25日
推薦理由*： HCD活動として優れている点、今後のご自身の活動において参考になる点などを記述して下さい。 組織的認知がほぼなかった状態から、地道に活動を続け約1年で社内においては事業本部MVP、部署MVPの2回のMVPに活動が選ばれるまでに普及させることができました。 社内のデザインプロセスの中でも、デザインに対する開発チームの向き合い方についての意識啓蒙にもプラスに働いている。		ISO9241-210で規定するプロセスの特定*： 5つのサブプロセスの中で該当する部分を特定し 活動の詳細をご記述く 1.人間中心設計の計画 グリー社内において、HCD活動を導入、促進するためにUXデザインの専門チームを立ち上げた。 活動を組織的に認知させる、HCDを用いたデザインプロセスをより広く組織に浸透させるため、立ち上げ当初から1年間「ユーザテスト」を中心とした設計評価のプロセスに特化してチーム活動の組織展開を進めた。 2.要求に対する設計の評価 ユーザテストを組織的に展開することで、プロダクト開発チームの間で「ユーザの行動を観察」することによる、デザインへの新たな気づきを誘発することができた。 また、テスト結果を分析し課題ポイントを可視化することで課題のポイントと画面遷移における相関性なども理解できるようになり改善施策立案を強力にサポートできている。	
最終成果物の概要*： 概要を説明し 成果物を示す画像を貼ってください。ウェブページの場合はURLを明記して下さい。 成果：工数圧縮による、同時対応案件数の増加と組織展開 テスト設計、レポートのコストを手法をフレームワーク化することで圧縮し、限られたリソース下でも同時複数案件の対応を可能にし、ある程度の規模の組織でも活動認知が可能である事を証明した。 - 従来40人日かかっていたテスト工数を、平均10人日程度へ圧縮 - その結果、FY2014：8回/半年であった実施件数がFY2015：14回/3ヶ月へと増加できた チーム活動の成果がインタビュー記事として取材の対象にも選ばれた。 参考：エンジニアType http://engineer.typemag.jp/article/gree-ux		専門家としての評価*： 評価するポイントやできばえ、表彰による波及効果などをご記述ください。 組織に活動を導入にして、普及させるというプロセスにおいて活動を工数圧縮や対応ライン数の増加など、程度定量化された成果で説明できている点。 HCD活動の組織導入の分野はまだ事例が少ないため、表彰により組織的に活動を普及させるためのひとつのヒントとなればよいと思っている。 同意事項*： ご推薦いただいた事例は、推薦者名と共に、HCD-Net内で公開いたします。公開の可否について、以下のいつれかを○	

HCDアワード ベストプラクティス推薦書

*は記入必須事項です

	で囲んでください。
受付番号 : 06	承諾する

HCDアワード ベストプラクティス推薦書

*は記入必須事項です

事例名*	参考資料：以下の欄内に添付してください。画像は合計1GB以内してください。
グリー株式会社における、ユーザテストの組織導入とゲーム開発プロセス	(必須) 本申請に記載されたプラクティスの成果物(製品やウェブサイトなど)の画像。 (任意) 本申請に記載されたプラクティス事例が紹介されている新聞・雑誌・ウェブページの記事や論文など。
<p>エンジニアType：インタビュー http://engineer.typemag.jp/article/gree-ux</p> <p>事例発表(グリー主催イベント) http://www.slideshare.net/future79/gree-creators-meetupclosingshare</p> <p>事例発表：CGWORLD 2014クリエイティブカンファレンス http://cgw.borndigital.jp/2014/session.html</p>	
受付番号：06	